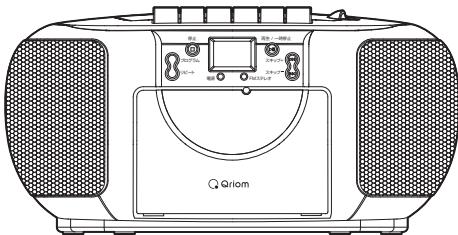


CD ラジカセ

YCD-C700(S) **取扱説明書**



ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後まで
お読みのうえ正しくお使いください。

この度は、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございました。

この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。

お読みになった後は、わからないことや不具合が生じた時にお役立てください。

日本国内専用 FOR USE IN JAPAN ONLY

本製品は家庭用として作られており、業務用には使用出来ません。
室内での使用に限ります。

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

ナビダイヤル

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ

E-mail: support@qriom.com

ホームページ: <http://www.qriom.com>

目次

● 安全上のご注意	2
● 梱包品	5
● 各部の名前	6
● 基本的な使い方	8
● 電源を準備する	8
● 機能を切り替える(電源の入・切)	9
● 音量を調整する	9
● CD取扱上のご注意	10
● CDの聞き方	11
● CDを初めて使う前に	11
● CDを再生する前の準備	11
● CDを再生する	12
● CDを繰り返し再生する	13
● CDの再生順を設定する(プログラム再生)	14
● カセットテープの聞き方	15
● カセットテープを再生する前の準備	15
● カセットテープを再生する	15
● カセットテープについて	16
● ラジオの聞き方	17
● アンテナを調整する	17
● カセットテープへの録音	18
● CDからの録音	18
● ラジオからの録音	18
● イヤホン端子の使い方	19
● お手入れ	20
● 本体のお手入れ	20
● 電源プラグのお手入れ	20
● テープヘッドのお手入れ	20
● ピックアップレンズのお手入れ	20
● 故障かな?と思ったら	21
● 仕様	22
● 保証とアフターサービス	23
● 保証について	23
● アフターサービスについて	23
● 保証書	24

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は、次のようになっています。

■【記号の意味】

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

■【本文中に使われている絵表示の意味】

 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 水ぬれ禁止	 指示を守る	 プラグを抜く
---	--	---	---	---	--

⚠ 警 告



発煙や変なにおいがするときは、
すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因
となります。

煙が出なくなるのを確認し、お買い上げ
の販売店に修理をご依頼ください。



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、お買い上げの販
売店に交換をご依頼ください。



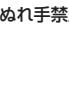
電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
交流100ボルト以外を使用すると、火災・
感電の原因となります。

差し込みが悪いと、発熱し火災の原因と
なります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差し
しない
ぬれ手禁止 感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。



分解・修理・改造はしない
感電・火災の原因となります。

内部の点検・調整および修理はお買い上
げの販売店にご依頼ください。



雷が鳴り出したら、アンテナ・電
源コードに触れない
野外で使用していて、雷が鳴り出
したら、アンテナをまとめて安全
な場所に避難する

感電の原因となります。

警 告



落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない



金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。



内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



次のような場所には置かない



- ・風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
- ・雨、きりなどが直接入り込むような場所
- ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
- ・振動の強い場所
- ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
- ・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。



電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

つぎのこと
を守る

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いてたり使用したりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



円形ディスク以外は使用しない



円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない



高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

注 意



円形ディスク以外は使用しない



円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない



高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

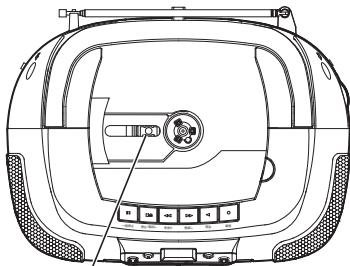
！ 注意



禁止

ディスクのピックアップレンズをのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



ピックアップレンズ

(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)



禁止

機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。

特に子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触るとけがの原因となります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

持ち運ぶときは、アンテナをまとめ、電源プラグをコンセントから抜く

けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



禁止

通風孔をふさがない

- ・壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）
- ・押入れや本箱など風通しの悪い所に押しまない
- ・テープルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
- ・じゅうたんや布団の上に置かない
- ・あお向け・横倒し・逆さまにしない
- ・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



音量に注意

指示を守る

- ・初めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しづつ上げてご使用ください。
- ・電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



プラグを抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜くコードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



指示を守る

結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する

寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機やディスクのピックアップレンズなどに結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このような時は電源プラグを抜き、CDを取り出して、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。

⚠ 注意



乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る。

- ・単2形乾電池以外の電池は使用しない
- ・指示を守る
- ・極性表示 $+$ と $-$ を間違えて挿入しない
- ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- ・本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
- ・長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。

もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。

器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ 免責事項について

- ・地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■ 著作権について

- ・音楽、映像などは著作権法により、その著作物および著作権者が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製、改変などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願ひいたします。

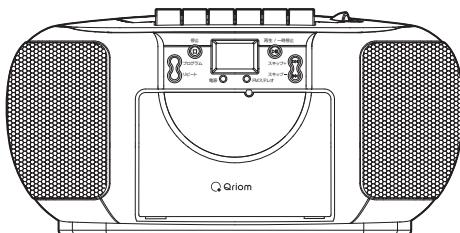
■ 録音について

- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。



梱包品

ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。



CD ラジオカセットレコーダー
YCD-C700 (S) (本機)

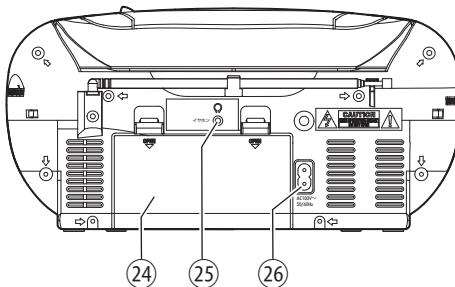
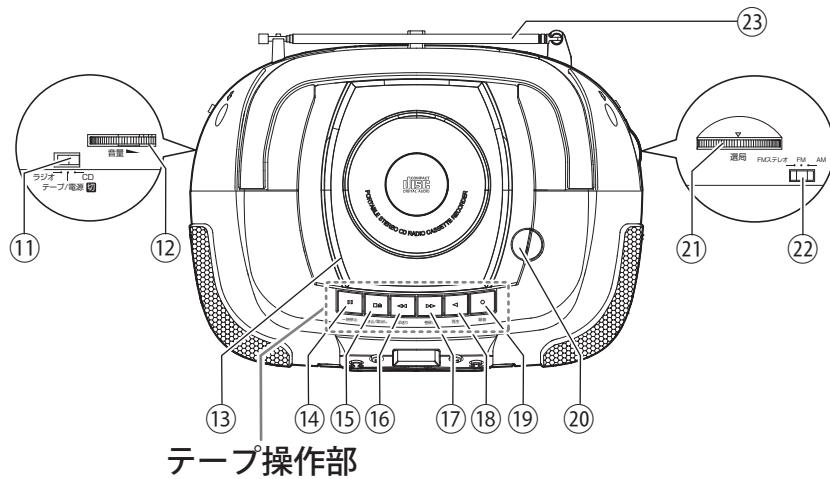
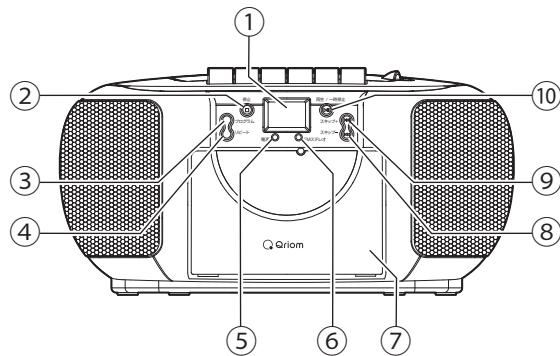


電源コード



保証書付き取扱説明書
(本書)

各部の名前



① CD情報表示

CDの曲(トラック)番号や再生の状態を表示します。

② CD:停止ボタン

CDの再生を停止します。

③ CD:プログラムボタン

CDの曲を再生する順番をプログラムします。

④ CD:リピートボタン

CDの1曲または全曲を繰り返し再生します。

⑤ 電源表示

電源が入ると点灯します。

⑥ FMステレオ表示

FM局のステレオ放送を受信した時に点灯します。

⑦ カセットテープドア

カセットテープの停止中に、【■△(停止/取出し)】ボタンを押すと開きます。

⑧ CD:スキップーボタン

CDの前の曲に移動します。

長く押すと、再生中の曲の早戻しになります。

⑨ CD:スキップ+ボタン

CDの次の曲に移動します。

長く押すと、再生中の曲の早送りになります。

⑩ CD:再生/一時停止ボタン

CDの再生と一時停止を切り替えます。

⑪ 機能切り替えスイッチ

ラジオ、テープ、CDプレーヤの機能を切り替えます。

⑫ 音量ツマミ

スピーカーまたはイヤホンの音量を調整します。

⑬ CDドア

⑭ テープ:II(一時停止)ボタン

カセットテープの再生を一時停止します。再度押すと再生を開始します。

⑮ テープ:■△(停止/取出し)ボタン

カセットテープの再生を停止します。

停止中に押すとカセットテープドアが開きます。

⑯ テープ:◀◀(早送り)ボタン

カセットテープを早送りします。

⑰ テープ:▶▶(巻戻し)ボタン

カセットテープを巻き戻します。

⑯ テープ:◀(再生)ボタン

カセットテープを再生します。

⑰ テープ:録音ボタン

カセットテープへの録音をします。

※ このボタンを押すと◀(再生)ボタンも同時に下がります。

⑲ CDドアツマミ

CDドアを開閉するときは、このツマミを持つておこないます。

⑳ 選局ツマミ

このツマミを回して、ツマミに表示されている周波数に受信したい局の周波数に合わせます。

㉑ バンド切替ツマミ

ラジオのAM、FM(FMモノラル)、FM ST. (FMステレオ)を切り替えます。

㉒ FMアンテナ

FM放送を受信時には、伸ばして使用してください。

㉓ 電池ケースふた

このふたを外して、単2形乾電池を6本入れます。

㉔ イヤホン端子

お持ちのイヤホンまたはヘッドホンを接続してください。

※ イヤホンを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

㉕ 電源コード接続端子

付属の電源コードを差し込みます。

※ 接続するコードは必ず付属の電源コードを接続してください。他のコードを接続すると火災や感電の原因となることがあります。

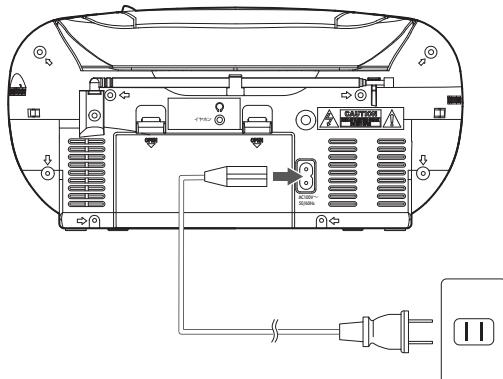
● 基本的な使い方

● 電源を準備する

家庭用電源または乾電池のいずれかで使用します。

● 家庭用電源を使う

1. 本機背面の電源コード接続端子に電源コードを接続します。
2. 接続した電源コードを交流 100V のコンセントに接続します。

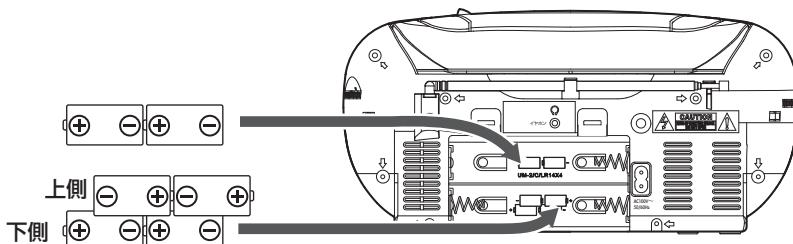


- ※ 接続するコードは必ず付属の電源コードを接続してください。他のコードを接続すると火災や感電の原因となることがあります。
- ※ 濡れた手で電源コードの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。

● 乾電池を使う

- ※ 電池は付属されていません。単2形アルカリ乾電池を推奨いたします。単2形アルカリ乾電池を6本お買い求めください。

1. 本機背面の電池ケースふたを開きます。
2. 単2形乾電池の極性を確かめながら、乾電池を6本電池ケースに入れます。

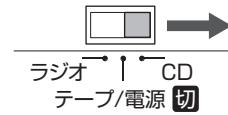
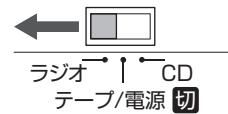
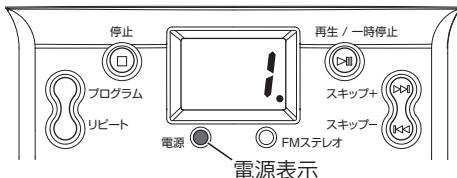


3. 電池ケースふたを閉めます。

●機能を切り替える(電源の入・切)

1. ラジオまたはCDを聞くには、機能切替スイッチを【ラジオ】または【CD】に合わせます。

- 機能切替スイッチを【ラジオ】または【CD】に合わせると電源が入り、【電源】表示が点灯します。



2. カセットテープを聞くには、機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。

- テープ操作部の【◀(再生)】、【◀◀(早送り)】、【▶▶(巻戻し)】または【●(録音)】ボタンを押すと電源が入り、【電源】表示が点灯します。

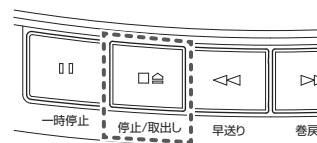
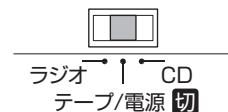
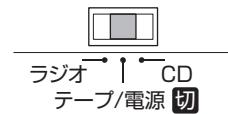
3. 電源を切るには

■ ラジオまたはCDのとき

機能切替スイッチを【テープ/電源切】に合わせます。

■ カセットテープ動作中のとき

【■△(停止/取出し)】ボタンを押します。

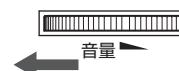


●音量を調整する

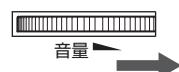
1. 音量を上げるには、音量ツマミを左側に回します。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。



2. 音量を下げるには、音量ツマミを右側に回します。



● CD取扱上のご注意

● 使用できるCDについて



マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

- コピーコントロールCD、特殊形状ディスクなどのCD規格外ディスクを使用された場合には、再生および音質の保障はしかねます。

■ CD-R/RWディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマットで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み取りに時間がかかることがあります、誤って回転中にディスクを取り出そうとした場合、ディスクに傷をつけることがあります。
- MP3/WMA/WMVファイルを収録したディスクは再生できません。
- VCD(ビデオCD)は再生できません。

※ メディアの種類、録音時の設定(書き込みスピードなど)によっては再生できないか、音質が著しく悪い場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 以下のCD、光ディスクは絶対に再生させないでください。

- DVD(音楽DVD含む)
 - 音楽CDではないCD(データ記録用のものなど)
 - 録音されていないCD-R/RW
- ※ 上記のものを再生すると大音量でスピーカーが破損、また、お聞きになった方の聴力に障害を及ぼす危険があります。

- 円形以外のCD、CD-R(ハート形、名刺形など)



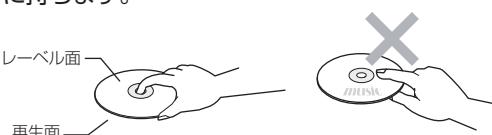
※ 上記のものを再生すると回転時に遠心力が不均等に働き、本体を破損させるおそれがあります。

● CD取扱上の注意

再生面、レーベル面ともにシールを貼ったり、傷をつけるないようにしてください。

■ 持ち方

再生面、レーベル面に触れないよう、図のように持ちます。



■ お手入れの方法

ディスクに指紋や汚れがついた場合は、やわらかい布で放射状に拭き取ります。

レコードのように円形に拭かないでください。



※ 市販のCDクリーニングキットを使うとより効果的です。

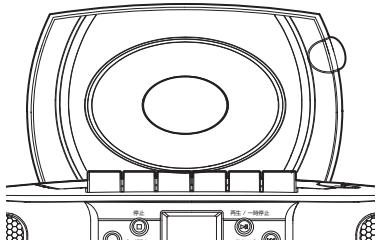
鑑賞し終わったCDは本体に入れたままにせず、ケースに入れて保存してください。

CDの聞き方

● CDを初めて使う前に

購入時にはCD挿入部にレンズ保護紙が取り付けられています。CDをセットする前に、必ずこのレンズ保護紙を外してからご使用ください。

1. CDドアツマミを持って、CDドアを開けます。



2. レンズ保護紙を取り外します。

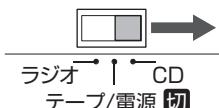


(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)

※ レンズには触れないよう注意してください。

● CDを再生する前の準備

1. 機能切替スイッチを【CD】に合わせます。



●【電源】が点灯し、「- -」が表示されます。

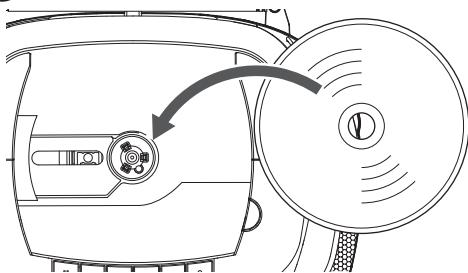
2. CDドアツマミを持って、CDドアを開けます。

●「00」が表示されます。



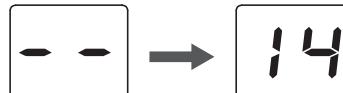
※ CDドアを開けたときに、CDのピックアップレンズを触ったり、傷付けないでください。CDが再生されなくなることがあります。

3. CDを挿入し、CDドアを閉じます。



(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)

● CDドアを閉じると、「- -」が表示され、CDの総曲数(トラック数)が表示されます。



総曲数
(トラック数)

● CDが挿入されずにCDドアを閉じると、「- -」が表示され、「NO」が表示されます。

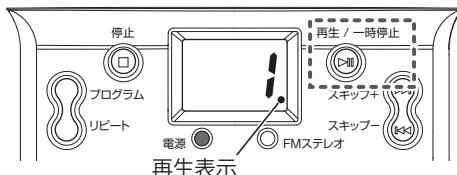


CDが挿入されて
いないとき

● CDドアは、確実に閉じてください。CDドアが確実に閉まつていないとCDは再生されません。

● CDを再生する

1. 【再生/一時停止】ボタンを押します。

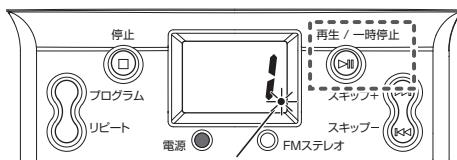


- 最初の曲から再生が始まり、再生中の曲番号が表示されます。また、再生表示が点灯します。
- 最後の曲が再生されると、再生は自動的に終了します。
- CD再生中にCDドアを開けると、CDの再生は停止します。



※ CDドアを開いてCDが回転している間は、CDに触れないでください。けがの原因になります。また、本機やCDの故障や破損の原因になります。

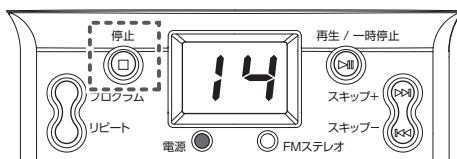
2. 再生を一時停止するには、再生中に【再生/一時停止】ボタンを押します。



再生表示 点滅

- 一時停止中は、再生表示が点滅します。
- 一時停止を解除するには、【再生/一時停止】ボタンを押します。

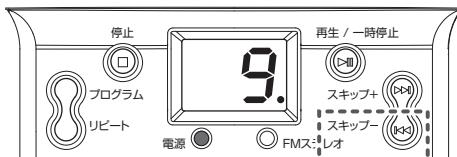
3. CDを停止するには、【停止】ボタンを押します。



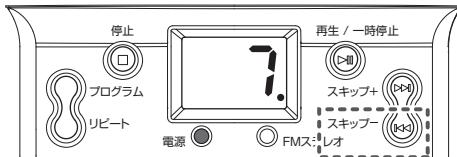
- CDの回転が止まり、総曲数の表示に変わります。
- 再生中に電源コードを抜くと本機の故障の原因となることがあります。必ずCDが停止したのを確認してから電源コードを抜いてください。

● 曲の始めに移動する

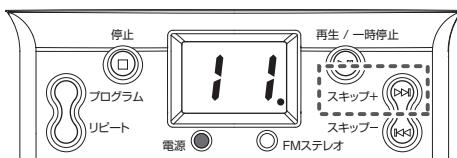
1. 再生中の曲の始めに戻るには、【スキップ-】ボタンを1回押します。



2. 聞きたい前の曲に戻るには、【スキップ-】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



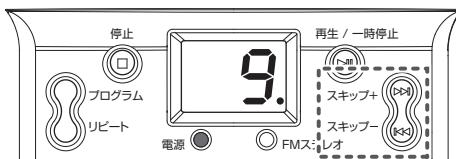
3. 聞きたい次の曲に進むには、【スキップ+】ボタンを聞きたい曲になるまで何回か押します。



- 停止または一時停止中に、【スキップ-】または【スキップ+】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めることもできます。
- 停止中に【スキップ-】または【スキップ+】ボタンを押し続けると、連続して曲の変更ができます。

●早送り/早戻し再生をする

1. 早送り/早戻し再生するには、再生中に1秒以上【スキップー】または【スキップ+】ボタンを押し続けます。

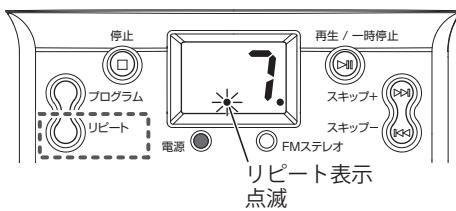


- 早送り/早戻しは、曲を越えて行うことができます。

●CDを繰り返し再生する

- 1曲のみ繰り返し再生する
(1リピート)

1. 【リピート】ボタンを1回押します。



- リピート表示が点滅します。
- 再生中は、再生している曲の1リピートになります。1リピートでは、曲の再生が終わると、曲の初めに戻り、再生を続けます。

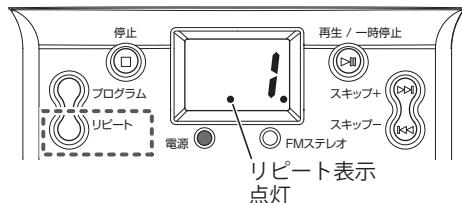
2. 1リピートを解除するには、【リピート】ボタンを2回押します。

- 1リピートが解除され、通常の再生に戻ります。
(再生中でも【リピート】ボタンを2回押すと1リピートは解除されます。)

●全曲を繰り返し再生する

- (オールリピート)

1. 【リピート】ボタンを2回押します。



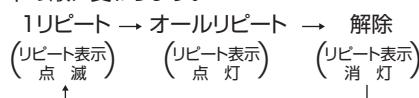
- リピート表示が点灯します。
- 再生中は、再生しているCDのオールリピートが始まります。最後の曲の再生が終わると、CDの初めに戻り、再生を続けます。

2. オールリピートを解除するには、
【リピート】ボタンを1回押します。

- オールリピートが解除され、通常の再生に戻ります。(再生中でも【リピート】ボタンを1回押すとオールリピートは解除されます。)

●リピートについて

- 【リピート】ボタンを押すごとに、リピートは以下の順に変わります。



- 停止または一時停止中は、【スキップー】または【スキップ+】ボタンを押してお好みの曲を選んで再生を始めると、選んだ曲で1リピートまたはオールリピートをおこないます。

- リピート中に【停止】ボタンを1回押して、CDが停止してもリピートは保持されます。【停止】ボタンを2回押すとリピートは解除されます。

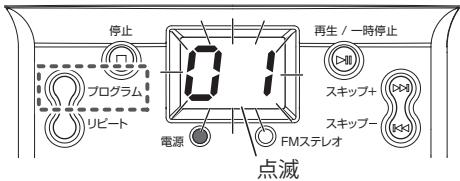
● CDの再生順を設定する (プログラム再生)

CDの曲をお好みの順番でプログラムして再生することができます。

1. 【停止】ボタンを押して、再生を停止します。

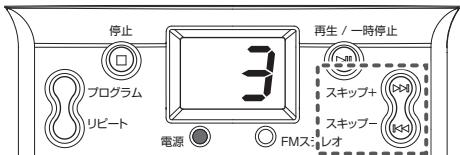
- 再生中は、プログラムを行うことはできません。必ず再生を停止してください。

2. 【プログラム】ボタンを押します。

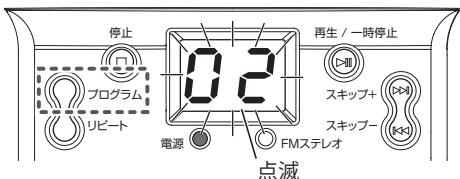


- 「01」が点滅表示されます。
- この手順で約30秒間何も操作が無いと、プログラムは中止され、元の表示に戻ります。

3. 【スキッパー】または【スキッパー+】ボタンを押して、再生したい曲を選びます。



4. 【プログラム】ボタンを押します。

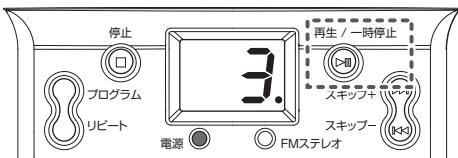


- 1曲目がプログラムされました。
- 「02」が点滅表示して、プログラム再生したい曲の選択を待っています。

5. 手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムします。

- 20曲までプログラムできます。

6. プログラム再生を始めるには、 【再生/一時停止】ボタンを押します。



- プログラムが終了し、プログラム再生が始まります。
- プログラム再生中も、一時停止または停止は可能です。
- プログラム再生中に【スキッパー】または【スキッパー+】ボタンを押すと、プログラムした曲の前または次に移動することができます。
- プログラム再生中に1リピートをおこなうと、再生中の曲の1リピートをおこないます。
- プログラム再生中にオールリピートをおこなうと、プログラムした曲でオールリピートをおこないます。
- プログラム再生中に停止し、【プログラム】ボタンを押すと、01が点滅表示され、プログラムの変更をおこなうことができます。手順3.と4.を繰り返し、再生したい曲をプログラムしてください。

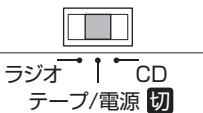
7. プログラムを消去するには、【停止】ボタンを一度押して停止し、再度【停止】ボタンを押します。

- プログラムでの再生が終わると、プログラムは消去されます。
- 電源を切るとプログラムは消去されます。

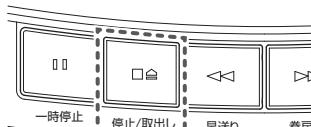
● カセットテープの聞き方

● カセットテープを再生する前の準備

1. 機能切替スイッチを【テープ/電源 切】に合わせます。



2. 【■▲(停止/取出し)】ボタンを押します。

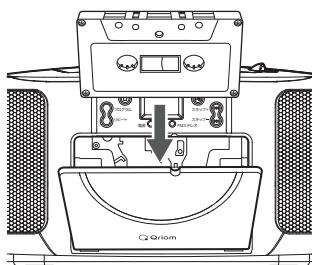


● カセットテープドアが開きます。



※ カセットテープドアは、必ず【■▲(停止/取出し)】ボタンを押して、開いてください。【■▲(停止/取出し)】ボタンを押さずに無理に開けようすると、カセットテープドアが破損します。

3. カセットテープを挿入し、カセットテープドアを閉じます。

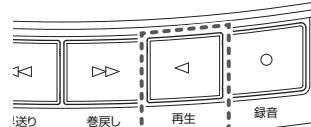


● カセットテープの再生する面を手前にし、テープ部が上になるようにカセットテープを入れてください。

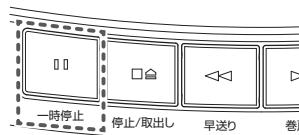
● カセットテープを再生する

1. 【◀(再生)】ボタンを押します。

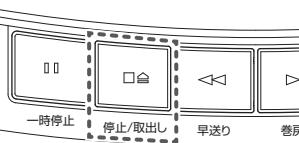
- 電源が入り、再生が始まります。
- 再生してテープが巻き取られると、【◀(再生)】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。



2. 再生を一時停止するには、再生中に【II(一時停止)】ボタンを押します。



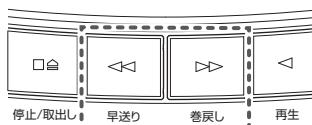
3. カセットテープを停止するには、【■▲(停止/取出し)】ボタンを押します。



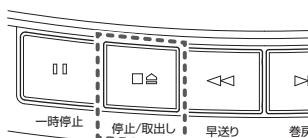
● 電源が切れます。

● 早送り/巻戻しをする

1. 早送り/巻戻しをするには、【◀◀(早送り)】または【▶▶(巻戻し)】ボタンを押します。



2. テープが端まで達したら、【■△(停止/取出し)】ボタンを押します。



※ 【◀◀(早送り)】および【▶▶(巻戻し)】ボタンは、テープが端まで達しても駆動は止まりません。必ず【■△(停止/取出し)】ボタンを押して停止させてください。放置しますと故障の原因になります。

- 希望の位置にきたら、【◀◀(早送り)】または【▶▶(巻戻し)】ボタンを再度押します。
- テープが巻き取られても、【◀◀(早送り)】または【▶▶(巻戻し)】ボタンは、元の位置には戻りません。
- 再生中は一度【■△(停止/取出し)】ボタンを押して、再生を停止してから早送り/巻戻しをおこなってください。

※ 再生中は一度【■△(停止/取出し)】ボタンを押して、再生を停止してから早送り/巻戻しをおこなってください。再生中に早送り/巻戻しをおこなうと、テープの巻き付きやテープ切れの原因となることがあります。

● カセットテープについて

- 使用できないカセットテープについて

■ 120分以上の長時間テープ

- 120分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。ノーマルテープ(TYPE1)をご使用ください。

■ エンドレステープ

- 使用できません。

■ テープがたるんだ状態のカセットテープ

- テープがたるんだ状態で使用するとテープの巻き付きの原因になります。テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってください。

● カセットテープの保管について

■ 次のような場所には保管しないでください

- ほこりの多いところ
- 磁石やスピーカーの近くなどの磁気の発生するところ
- 温度や湿度の高いところ
- 冷蔵庫など極端に温度の低いところ

● 録音を消さないために

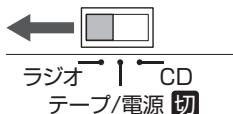
- 消去を防止するためには、カセットテープの上部にあるツメをドライバーなどで折ってください。

- 再度、録音できるようにするには、ツメを取り除いた穴の部分をセロハンテープなどでふさいでください。

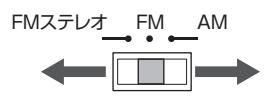
● ラジオの聞き方

本機はワイドFM（FM補完放送）に対応しています。ワイドFM（FM補完放送）とはAM（中波）放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の90.1～94.9MHz周波数を用いてAM放送をすることです。

1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせます。

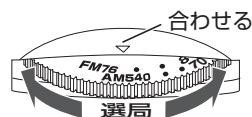


2. バンド切替スイッチを【FM】、【FMステレオ】または【AM】に合わせます。

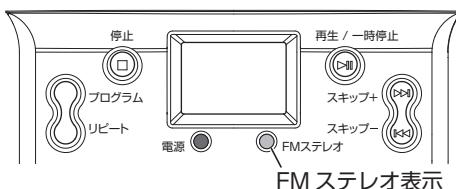


- ワイドFM（FM補完放送）をお聞きになるときは、【FM】または【FMステレオ】に切り替えてください。

3. 聞きたい局の周波数が選局ツマミの表示と△印に合うように、選局ツマミを回します。



- バンド切替スイッチを【FMステレオ】に合わせているときに、FM局のステレオ放送を受信すると、【FMステレオ】表示が点灯します。

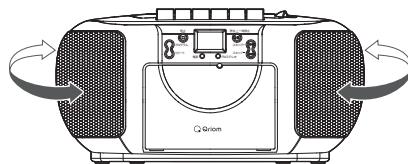


- バンド切替スイッチを【FMステレオ】に合わせているときに、ノイズが多いときは、バンド切替スイッチを【FM】に合わせてください。ノイズが少なくなることがあります。ただし音声はモノラルになります。

- パソコンなどの電子機器が近くにあると、音声にノイズが入ったり、受信できないことがあります。パソコンなどの電子機器からは離してお使いください。

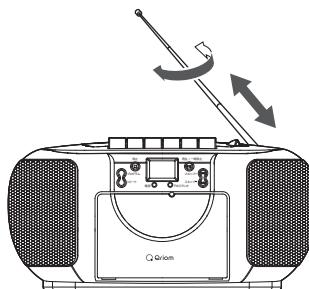
● アンテナを調整する

1. AM局を受信するには、AM局のアンテナは内蔵式ですので、本機の向きを変えます。



2. FM局を受信するには、本機背面のFMアンテナの位置を最も聞き取りやすくなる位置に設置します。

- FMアンテナはパソコンなどの電子機器からは、離して設置してください。

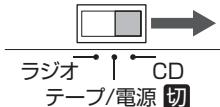


● カセットテープへの録音

CDまたはラジオからカセットテープへ録音ができます。カセットテープへの音量は自動で設定されます。

● CDからの録音

1. 機能切替スイッチを【CD】に合わせます。

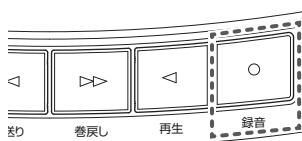


2. CDを挿入します。(「CDを再生する前の準備」11ページ参照)

3. カセットテープの録音する面を手前にして挿入します。(15ページ、「カセットテープを再生する前の準備」手順3のカセットテープ挿入方法を参照してください。)

- カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

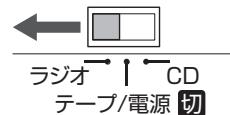
4. カセットテープの【録音】ボタンを押し録音を開始し、すぐにCDの【再生/一時停止】ボタンを押してCDを再生します。(「CDを再生する」12ページ参照)



- 【録音】ボタンを押すと、【◀(再生)】ボタンも同時に下がります。
- 録音を一時停止するには、【II (一時停止)】ボタンを押します。
- 録音を停止するには、【■△(停止/取出し)】ボタンを押します。
- 録音してテープが巻き取られると、【録音】と【◀(再生)】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。

● ラジオからの録音

1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせます。

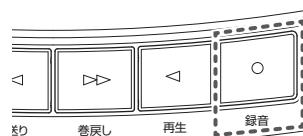


2. 録音したい局に合わせます。(「ラジオの聞き方」17ページ参照)

3. カセットテープの録音する面を手前にして挿入します。(15ページ、「カセットテープを再生する前の準備」手順3のカセットテープ挿入方法を参照してください。)

- カセットテープは上部のツメが折れていないものをお使いください。

4. カセットテープの【録音】ボタンを押し録音を開始します。



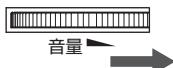
- 【録音】ボタンを押すと、【◀(再生)】ボタンも同時に下がります。
- 録音を一時停止するには、【II (一時停止)】ボタンを押します。
- 録音を停止するには、【■△(停止/取出し)】ボタンを押します。
- 録音してテープが巻き取られると、【録音】と【◀(再生)】ボタンは元の位置に戻り、再生は停止します。

● イヤホン端子の使い方

お持ちのΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンをお使いいただけます。

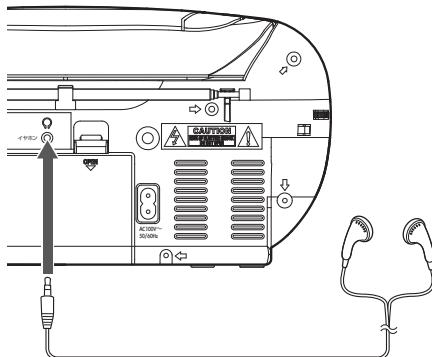
イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

1. 音量ツマミを右側に回しきり、音量を最小にします。



※ 音量は徐々に上げてください。特に、イヤホンをお使いのときは、突然大きな音を出力して耳を傷めるおそれがあります。

2. イヤホン端子にΦ3.5mmのステレオミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンケーブルを接続します。



- イヤホンまたはヘッドホンケーブルが接続されると、スピーカーから音は出なくなります。

※ イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のイヤホンまたはヘッドホンをお買い求めください。

3. 機能切替スイッチを【ラジオ】、【CD】または【テープ】に合わせ、選んだ機能の再生をおこないます。

4. 音量ツマミをゆっくり左側に回し、聞きやすい音量にします。

お手入れ

- ⚠ * お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
* 電源プラグは絶対に水に浸けないでください。

● 本体のお手入れ

- 本機表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本機表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。

* メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
* みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● 電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布で、から拭きします。

* みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。

● テープヘッドのお手入れ

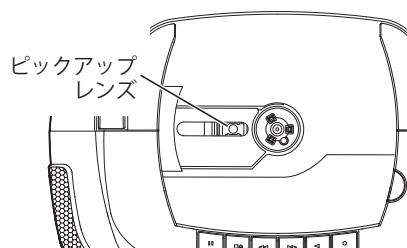
- テープを再生または録音すると、次のような症状が出る場合があります。
音が悪い、前の音が残っている、きれいに録音できない、テープが巻きつく
- 上記の症状はほとんどの場合、ヘッドやピンチローラーおよびキャブスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキットまたはクリーニングテープをお買い求めのうえ、ヘッド部分を掃除してください。掃除はできるだけ早め(約10時間程度使用ごと)におこなってください。

● テープヘッドの掃除のしかた

- ①【■△(停止/取出し)】ボタンを押して、カセットテープドアを開いてください。
- ②市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽く拭いてください。
※カセットテープはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

● ピックアップレンズのお手入れ

- CD装着部のピックアップ用レンズが汚れていると、音とびが起きたり、時には再生ができなくなります。レンズについた指紋などの汚れは、新しい綿棒でレンズの中心から外側に向かって軽く円を描くように拭き取ってください。



(上図は説明のため、CDドアは省略しています。)

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。

それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
表示が出ない。	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグをコンセントの奥までしっかりと差し込んでいることをご確認ください。
音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none">● 音量は適切に調整されていますか。音量を調整してください。● お聞きになりたい機能が正しく選ばれていますか。機能切替スイッチをスライドして、お聞きになりたい機能を選択してください(P.9)。● お聞きになりたい局と周波数は合っていますか。また、AM/FMは正しく選択されていますか。選局ツマミを回してお聞きになりたい局に周波数を合わせてください。
スピーカーから音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none">● イヤホンまたはヘッドホンがイヤホン接続端子に接続されていますか。イヤホンまたはヘッドホンが接続されるとスピーカーから音声は出ません。
CDが再生されない。CD再生の音が飛び。CD再生の音質が悪い。	<ul style="list-style-type: none">● CDが正しく装着されているかご確認ください。CDが汚れている場合は、クリーニングするか、別のCDで試してみてください。● ピックアップレンズが汚れている場合は、クリーニングしてみてください(P.20)。● 一時停止状態になつてないかご確認ください。
カセットテープが入らない。カセットテープドアが閉まらない。	<ul style="list-style-type: none">● カセットテープの上下の向きは合っていますか。テープが上を向くように入れてください(P.15)。● カセットテープがカセットテープホルダーに入っていますか。カセットテープホルダーに正しく入れてください(P.15)。
テープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none">● カセットテープの不良ではありませんか。カセットテープを交換してみてください。● テープが薄い長時間テープを使用していませんか。90分以下のカセットテープをお使いください。
カセットテープ再生の音がとぎれる、音程がくるう、消去が不完全。	<ul style="list-style-type: none">● テープヘッドが汚れていませんか。テープヘッドをお掃除してください(P.20)。● ハイポジションやメタルテープを使っていませんか。ノーマルテープをお使いください。
【録音】ボタンが押せない。	<ul style="list-style-type: none">● カセットテープのツメが折られていませんか。新しいカセットテープに交換するか、ツメが折られた部分をセロハンテープなどを貼ってください(P.16)。
ラジオの音質が悪い。	<ul style="list-style-type: none">● 近くにパソコンなどの電子機器はありませんか。電子機器の影響でラジオの音質が悪くなることがあります。● アンテナの向きは正しいですか。AM放送用のアンテナは内蔵されていますので、AM放送をお聞きの場合は、本機の向きを変えてください。FM放送をお聞きの場合は、本機背面のFMアンテナの位置を変えてください。

仕様

品名	CDラジオカセットレコーダー
型名	YCD-C700 (S)
電源	100 V ~ 50/60 Hz DC 9 V (単2形乾電池×6本) ※乾電池は別売り
消費電力	10 W (待機時 1.4 W)
実用最大出力	1 W + 1 W: 総合2 W
CD再生可能ディスク	音楽CD、CD-R、CD-RW(CD-DAフォーマットで記録されたディスク) ※MP3/WMA/WMVなどの圧縮されたファイルは再生できません。
受信周波数	FM 76.0 ~ 108 MHz / AM 522 ~ 1620 kHz
付属品	取扱説明書(保証書付き:本書)、電源コード(長さ 1.5m)
外形寸法	約290(幅)×224(奥行き)×147(高さ) mm (突起部含まず)
本体重量	約1.7 kg

※本機の外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは対象外となります。

愛情点検



長年ご使用の機器の点検を!

このような
症状はあり
ませんか?

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触ると通電しなかつたりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体がいつもより異常に熱い。
- その他異常や故障がある。

故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。